

令和7年度 第2回舞鶴市図書館協議会 記録(抄録)

日時: 令和7年11月5日(水)
午前10時30分～12時00分
会場: 舞鶴市役所 中会議室

<1. 議事>

(1) 開会

(2) 図書館協議会 議事

議題① 令和6年度の事業実績について

議題② 令和7年度の事業進捗状況について

議題③ 図書館基本計画に基づく図書館再編の進捗状況について

(3) 閉会

<2. 会議録>

(1) 開会 (10時30分)

(2) 図書館協議会 議事

議題①・②・③について事務局から説明

* 質問や意見は以下のとおり

①[議題] 令和6年度の事業実績について

②[議題] 令和7年度の事業進捗状況について

(課題解決型の図書館について)

- ・先日テレビで課題解決型図書館の特集をしていた。
- ・いろんな地域の図書館が取り上げられており、それぞれの地域の状況に応じた特色があった。
- ・舞鶴市ならではの課題に対応し、充実させていくことが重要。
- ・文学のレファレンスが圧倒的に多い。舞鶴市の課題は何かを考える必要がある。
- ・例えば高齢化や不登校など、課題に応じた図書館のあり方を考えるべき。
- ・レファレンス対応の多さに驚いた。
- ・課題解決の役割をアピールするため、解決に至ったエピソードや感動秘話を市民に発信すべき。
- ・司書の情報収集・対応のスピードは驚くべきものがある。

（学校支援について）

- ・1ヶ月に1回の貸出文庫（団体貸出）により学級文庫が新しくなり、子どもたちが積極的に本を読む姿が見られることを嬉しく思う。
- ・夏休みの酷暑時に体育館や運動場が使えない放課後児童クラブの子どもたちのために、ブックトークをしていただけると嬉しい。
- ・今の子どもたちはなかなか図書館を利用しないと感じている。
- ・幼少期から読み聞かせや見学で図書館を利用した経験が、大人になったときの図書館との距離感を変える。
- ・中学生の様子を見ていると、紙の本よりタブレットを見ている時間が多い。
- ・タブレットでの動画視聴は主導権が相手に取られるが、読書は自ら文字を読み進める能動的な活動であり、主体性を身につけるために本に親しんでほしい。
- ・学校の図書室の状況があまりよくないため、レイアウト変更などに力を貸してほしい。
- ・図書館利用習慣がある子どもは学力が高いという文部科学省の調査データなどを活用し、図書館こそ福祉・学校教育と繋がっていることを訴えてはどうか。

（市民協働について）

- ・図書館の職員だけでは事業継続が難しく、限界がくるため、年報に「連携協働」の項目を追加し、各種団体との連携だけでなく市民との協働（市民の力を借りる）についても記載すべきである。
- ・行政は場を提供し、市民が中身を作り上げるという意気込みを示すべき。
- ・舞鶴市の引揚記念館の学生語り部のように、意識の高い高校生をターゲットに、図書館でもボランティアとして活躍してもらうべき。

（年報の編集について）

- ・全国平均や前年度との比較を充実させ、市議会へも配布してはどうか。
- ・5カ年分の経年変化を記載し、分析しやすい統計処理とすべき。
- ・連携・協働の項目を作って、その中に学校連携を入れるべき。

（研修について）

- ・積極的な研修参加は良いことだが、その成果を活かして、市民に図書館の楽しさを教えてあげてほしい。

（利用実績について）

- ・多様な取り組みにもかかわらず、貸出者数などの実績が伸びていない原因を検証し、対策を練ってはどうか。
- ・現在は「種を蒔いている状態」だと思うが、全体的な利用の底上げにつながることを期待する。

（事業について）

- ・おたのしみ会など、子ども対象の事業が多いので、働き世代や全年齢に対してバランス良く事業に取り組むことが必要。

③[議題]図書館基本計画に基づく図書館再編の進捗状況について

(中央図書館の建設について)

- ・中央図書館予定地に大きな看板を設置して、市民の意識を喚起してはどうか。

→【事務局】

土地購入後に看板を設置するなど、機運醸成に努めたい。

- ・中央図書館開館後、東分館(商工観光センター、まなびあむ)との綿密な連携を実施してほしい。

(自動車図書館の導入について)

- ・自動車図書館は思っている以上に難しいと思うが、特定のところにだけ行くのではなく、様々な場所に出向いて、充実させてほしい。
- ・赤れんがパークで行われた自動車図書館デモ車両の展示では、会場に様々な出店があったり、親子で本を読んだり、それぞれで楽しんでおられた。
- ・その雰囲気は素敵だったので、将来的にこんな形になったらいいと思う。
- ・自動車図書館が来るところに楽しいイベントがあると、みんなが集まってくると思う。
- ・自動車図書館の展示は10月25日と11月9日だけか。

→【事務局】

車両を扱う業者が遠方のため、何度も来てもらうのが難しく、人が集まりそうなイベントでの展示を優先したため、その2日間となる。

- ・12月7日に「まいづる環境フェスタ」があるのだが、ここで展示ができるとうれしい。
- ・大浦地区や加佐地区の巡回予定地の市民の意見は聞いたか。

→【事務局】

地域活性化センターの職員からは意見を聞いており、日中、家にいる人は少ないとのことであったが、今後、ルート検証を行う中で詳しく地域住民にも希望を聞いていく。

- ・近隣の福知山や宮津の自動車図書館に協力してもらい、舞鶴のイベントでの体験機会の提供を検討してはどうか。
- ・高齢者施設や病院など、図書館に近くても足を伸ばすことが難しい場所などもリサーチし、今後のルート検討に含めてはどうか。
- ・巡回場所の利用者の年代に合わせて、持っていく本を選ぶなどの工夫が必要。
- ・子育て支援拠点(乳幼児と保護者が交流できる)の出張サービス(お出かけほっとなど)へのスポット巡回を行ってはどうか。
- ・SNS等で自動車図書館の車内の様子を発信し、CGなどで内部が比較できるようにしてはどうか。
- ・雨や雪などの悪天候の日の運行を懸念している。
- ・経費もかかるため、人が集まるイベントと一緒にするなど集客できるルートの選定が重要。
- ・高齢者施設や幼稚園への巡回もしてほしい。
- ・「とくし丸」(移動販売車)のように音楽を流して地域を回することで、図書館の存在を市民に認識させるのはどうか。

- ・また、とくし丸と連携し、同じ日に巡回するなど、買い物客と同時に本を借りる機会を提供してはどうか。
- ・地域のブックコーディネーター(司書資格者や社会福祉士など本と施設を繋ぐ人材)を障害者施設や高齢者施設といった施設単位で作っていく政策的な開発が必要だと思う。

(3) 閉会 (12時)